

1 きめ細かな教育、安全・安心な学校づくりの推進

【予算額 2,715,615 千円】

確かな学力の定着と児童生徒一人ひとりの個性や能力の慎重を図るとともに、二
ーズにきめ細かく対応する教育を推進するため、少人数学級編制等の実施や発達障
害のある児童生徒への対応の充実を図ります。
また、耐震対策など、安全・安心な学校づくりを進めます。

1 少人数学級編制の実施 2,000,862千円

小学校および中学校において、引き続き少人数学級編制を実施する。

- ・ 小1～小3、中1で35人学級編制を実施
(小学校では複数指導との選択制)
小学校 教員143人 非常勤講師90人
中学校 教員 80人
- ・ 学校の実情に応じ、小4～小6で1学年を選択して35人学級編制を
実施
小学校 臨時講師 10人

2 発達障害のある児童生徒への対応の充実 10,957千円

学習障害(LD)などの発達障害のある児童生徒への指導力の向上を図るとともに、
教育相談などの支援を行う。

- ・ 発達障害児童生徒への指導力向上事業
特別支援教育巡回チームを学校へ派遣
特別支援教育支援員を高等学校に配置(3人)
- ・ 特別支援教育支援事業
発達障害のある児童生徒の教育相談を実施

3 県立学校の耐震対策の推進 703,796千円

安全・安心の学校づくりに向け、高等学校の耐震診断調査と調査結果に基づく補強
工事を順次行う。

- ・ 耐震補強工事(継続工事3校、新規工事2校)
- ・ 耐震2次診断(10校) ・ 設計(4校)

2 子どもたちの心を支える教育の推進

【予算額 112,404 千円】

不登校や、いじめ等の問題に的確に対応し、子どもたちの心を支え育む教育を進めるため、学校への専門家の配置、派遣など、相談、支援の充実を図ります。

1 スクールカウンセラー等の配置

93,605千円

スクールカウンセラー等を各学校に配置し、児童生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への助言援助を行う。

- ・ スクールカウンセラーを各学校に配置
中学校100校、県立学校：重点校10校、その他36校
「子どもナイトだいやる」によるいじめ等の深夜相談電話の実施
- ・ 小学校心のオアシス相談員の配置
小学校30校

2 中学生保護者支援員配置事業

9,799千円

不登校やいじめ等に不安や悩みを抱えた保護者の支援を行うことにより、学校と保護者が協力して生徒の自立支援を行う。

- ・ 臨床心理士が保護者のカウンセリングを行う。
県内9ブロックの拠点中学校に各1名を配置

3 生徒指導緊急特別対応事業

9,000千円

暴力行為等、課題の大きな学校を支援するため、関係機関と連携のもと、児童生徒や保護者への対応について、指導助言を行う。

- ・ 警察と教員のOBによる「スクールサポートチーム」を機動的に派遣

3 自然や社会に学ぶ体験活動の充実

【予算額 311,410 千円】

滋賀の豊かな自然や、地域社会の中で様々な体験をすることで、学び、豊かな心をはぐくみ、たくましく育っていくことができるよう、学校と地域の連携のもと、体験活動等の充実を図ります。

1 琵琶湖に学ぶ学習船「うみのこ」の運航と基金積立 297,300千円

就航から 25 年で 40 万人を超える児童が乗船し、琵琶湖の大切さ、自然の素晴らしさを学んできた琵琶湖の学習船「うみのこ」において、滋賀らしい環境教育、体験学習の取組みを進めるとともに、新船建造に向けた基金に積立を行う。

- ・ 児童学習航海（1泊2日）など98航海を実施
- ・ 学習船建造基金積立（30,263千円）

2 放課後子ども教室推進事業 10,986千円

小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、安全・安心な子どもたちの活動拠点（居場所）を設ける。

- ・ 地域の方々とともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等を行う。

3 「地域の力を学校へ」推進事業 3,124千円

地域と学校等を結びつけ、豊富な知識や経験を持つ地域や企業・団体等の方々が学校等で活躍できる仕組みづくりを進める。

- ・ 「学校支援ディレクター」が地域と学校の間での調整や情報提供、相談・助言、企画・運営等のコーディネートを行う。

4 スポーツの振興と歴史文化資産の調査・活用

【予算額 76,200 千円】

今夏のインターハイの開催を支援するなど、学校体育や生涯スポーツの一層の振興を図ります。

また、本県の豊かな歴史文化資産の調査と活用を進め、その価値を県内外に広く発信します。

① インターハイ開催補助

70,000千円

今年夏に奈良県を中心に近畿各地で開催する全国高等学校総合体育大会（2009 近畿まほろば総体）において、本県で開催する競技の経費を補助する。

< 2009 近畿まほろば総体 >

奈良県を中心に近畿 2 府 4 県で 15 種目の競技を実施

< 本県開催競技：2 種目 >

- ・ ボート競技 7月31日～8月4日（大津市）
- ・ アーチェリー競技 8月3日～6日（ " ）

2 近江水の宝調査活用事業

6,200千円

琵琶湖やその周辺の「水」に関わる豊かな文化遺産を調査し、その価値を評価するとともに、観光資源や教育の素材、地域づくりの資源として積極的に活用する。

- ・ 近江水の宝ガイドブックの刊行
- ・ 近江水の宝探訪事業の開催
- ・ 近江水の宝シンポジウムの開催 等

5 新しい時代に向けた教育の推進

【予算額 666 千円】

本県の今日的な教育課題に適切に対応するため、教育改革を推進するとともに、これからの新しい時代に向けた教育行政の指針として「滋賀県教育振興基本計画」を策定し、教育施策の計画的な推進を図ります。

④ 滋賀の教育改革の推進

6 6 6 千円

今日的な教育課題に適切に対応するとともに、本県の特徴を活かした、新しい時代に向けた施策を総合的・体系的に構築し、計画的に推進するため、「滋賀県教育振興基本計画」を策定する。

また、今後の県立学校のあり方について、具体的な計画の策定に向けて取り組む。

- ・ 滋賀県教育振興基本計画
「滋賀県教育振興基本計画策定委員会」答申を踏まえ策定する。

<策定委員会答申>
 - ・ 計画期間 平成 21 年度(2009 年度) ~ 25 年度(2013 年度) 5 年間
 - ・ 教育の基本目標 未来を拓く心豊かでたくましい人づくり
~ みんなで支えあい自らを高める教育の推進 ~
(基本目標を達成するための 3 つの観点)
 - 1 子どもたちの「生きる力」を育む
 - 2 社会全体で子どもの育ちを支える
 - 3 学びあい、支えあう生涯学習社会をつくる

- ・ 県立学校のあり方に関する計画の策定
「県立学校のあり方検討委員会」の報告ならびに「滋賀県産業教育審議会」の答申を踏まえ、具体的な計画の策定に向けて取り組む。